

スポーツカムシャフト 取扱説明書

製品番号	01-08-0190 (N-10)
	01-08-0191 (N-20)

適応車種	GROM (JC92-1000001 ~ 1099999)
	モンキー 125 (JB03-1000001 ~)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

空燃比についてのご注意

GROM (JC92-1000001 ~ 1099999) の場合、弊社製マフラーと同時に使用されますと空燃比が適正值とならず、エンジン破損の可能性があります。車種専用の FI コン TYPE-e を必ず同時装着して下さい。
モンキー 125 の場合は、当製品と共に必ず車種専用の FI コン TYPE-X を必ず同時装着して下さい。

デコンプについて

デコンプを取り付ける場合は純正カムシャフトの分解、プーラー、プレス等の特殊工具が必要になります。デコンプパーツを取り付けない場合、バッテリーの使用状況に拠ってはエンジンの始動が困難になる場合があります。なお、弊社ではデコンプ部品の組み替えサービスを有償にて行っています。(12-07-0004)

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

◎当製品は、上記適応車種の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。

◎当製品の取り付けには上記適応車種にあった純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行って下さい。

◎取り付けの際には工具等を準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。

◎製品には、エッジや突起がある場合があります。必ず作業手袋を着用し作業を行って下さい。

(説明書内で作業手袋未着用の写真がある場合でも、作業時は作業手袋等を着用して下さい。)

◎この取扱説明書は、基本的な技術や知識を持った方を対象に作成しております。

取り付けに自信の無い方や、取り付けに必要な工具等をお持ちで無い場合は取り付け作業は行わずに、指定工場、又は認証工場などの車両整備が可能な業者へ取り付けをご依頼下さい。

◎ボルト、ナット、ノックピン、パッキン類の一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず必ず新品のものをご使用下さい。

◎当製品は、カムシャフトのみの商品内容です。取り付けの際に必要な L. クランクケースカバーガスケット (弊社品番: 00-02-0498) は含まれておりませんので別途ご用意下さい。

～特徴～

○ノーマルエンジン (ノーマル排気量) の出力特性を変化させ、ハイパワー化を可能とします。弊社製マフラーや FI コントローラーと組み合わせる事により更なる出力アップも可能です。

○N-10 スポーツカムシャフトは主に低中回転域の出力をアップさせます。扱い易さや乗り易さの向上にも貢献します。

○N-20 スポーツカムシャフトは主に高回転域の出力をアップさせます。S-Stage ポアアップキットのオプションカムとしてもご使用頂く事が可能です。

○ノーマルカムからデコンプ部品を移し替える事により、ノーマル同様のオートデコンプ仕様にする事が可能です。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

■一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。(法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)

■作業等を行う際は、必ず冷間時 (エンジン及びマフラーが冷えている時) に行ってください。(火傷の原因となります。)

■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)

■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。)

■製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、作業手袋等を着用し手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)

■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。(部品の脱落の原因となります。)

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)

■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)

■点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)

■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。(事故につながる恐れがあります。)

■製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後 1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。

但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。



部品名	個数
カムシャフト COMP.	1

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

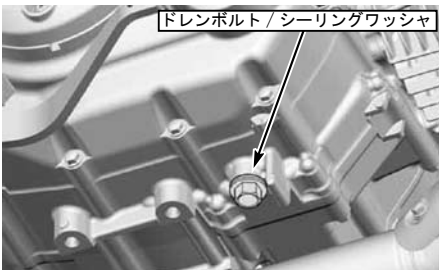
○水平な場所で、メンテナンススタンドにて車両をしっかりと安定させる。

●カムシャフトの取り外し

○必要に応じ、外装類やエアクリーナーケース、ドライブsprocketカバーを純正サービスマニュアルを参照し取り外す。

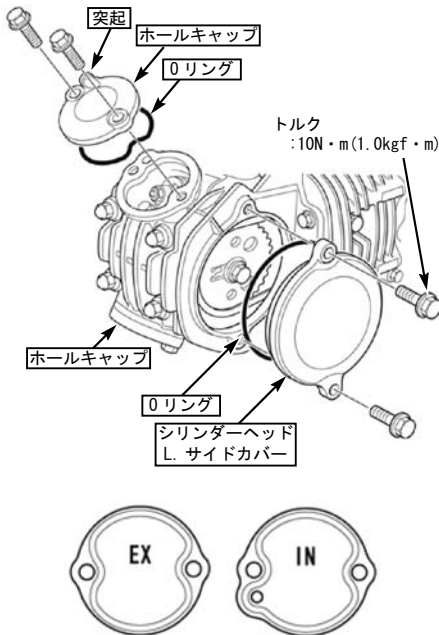
L. クランクケースカバーからのハーネスの接続を外す。

○受け皿を準備し、ドレンボルト / シーリングワッシャとフィラーキャップを取り外し、エンジンオイルを排出する。



○ボルト2本をそれぞれ取り外し、シリンダーヘッドL. サイドカバー / Oリング、インテーク側、エキゾースト側のホールキャップ / Oリングを取り外す。

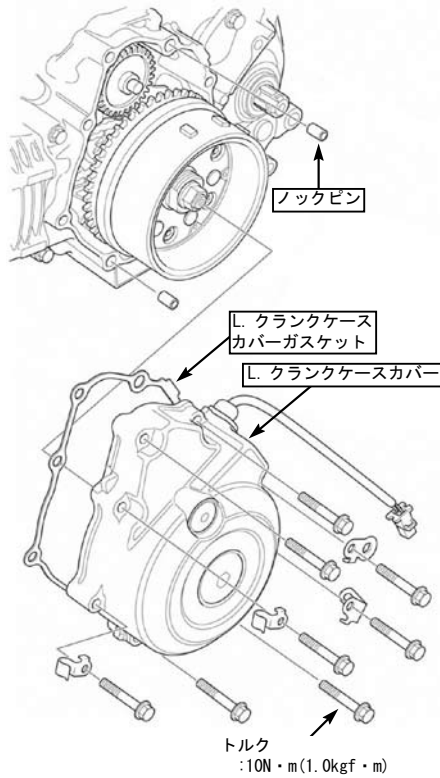
※OILが垂れる為、受け皿を用意する事。



○ボルトを対角に数回に分けて緩めて取り外し、L. クランクケースカバーを取り外す。

※磁力によってL. クランクケースカバーを引っ張り込む力が作用しているため指を挟まない様に注意する事。

○ノックピン2個を外し、クランクケースやL. クランクケースカバーの取り付け面に残ったガスケットをきれいに取り除く。



○クランクシャフトを反時計方向に回し、カムsprocketの“O”マークをシリンダーヘッドの突起に合わせる。



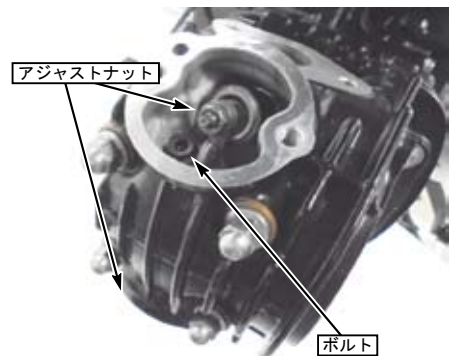
○ユニバーサルホルダーにてカムsprocketを保持し、カムsprocketボルト / ワッシャを取り外し、カムsprocketを取り外す。



○テンショナーロッドのオイルフィルターボルトを取り外す。



○インテーク、エキゾースト共にロッカーアームのアジャストナットを緩め、アジャストスクリューを緩めておく。インテークのロッカーアームシャフトをとめているボルトを取り外す。



■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

○インテーク側のロッカーアームシャフトに適当な M6 のボルトを取り付けてシリンダーヘッドから抜き取り、ロッカーアームを取り外す。
※ベアリング脱落注意。



○カムシャフトを止めているボルト/ワッシャを取り外す。



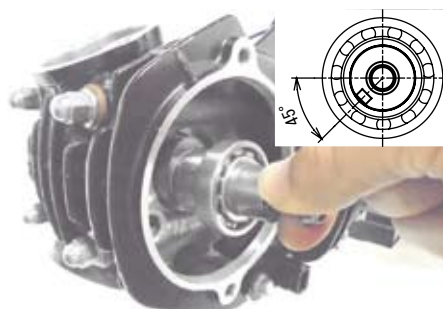
○適当なボルトを取り付けたカムシャフトをシリンダーヘッドの形状に合わせて取り外す。

・まず、溝をインテーク側に 45° 程度に合わせ、引き抜く。

※カムシャフトが抜けにくい場合はスライディングハンマーを用いるか、シリンダーヘッドを取り外し、脱着を行う。シリンダーヘッドを取り外した際はサービスマニュアルの指示に従う。



・次に溝をエキゾースト側に 45° 程度に合わせ、カム山の形状やデコンプ部品をヘッドの形状に合わせて抜き取る。



●デコンプパーツの取り付け

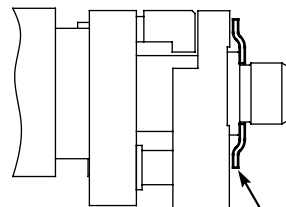
※デコンプパーツを取り付けない場合、「カムシャフトの取り付け」からの手順に従う事。
※取り外し、取り付けにはベアリングプーラーやプレス等の特殊工具を使用し、作業を行う事。

○ノーマルカムシャフトとキット付属のカムシャフトからデコンプ部品側のベアリングを取り外す。



○ノーマルカムシャフトからデコンプパーツを取り外し、付属のカムシャフトに同じ様にデコンプパーツを取り付ける。

※ワッシャの方向に注意する事。



○取り外したベアリングを圧入する。

●カムシャフトの取り付け

○付属のカムシャフトの各部にエンジンオイルを塗布する。



○取り外しと逆の手順にて、カムシャフトをシリンダーヘッドの形状に合わせて取り付け。

○シリンダーヘッドにボルト/ワッシャを取り付け、カムシャフトを固定する。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト/ワッシャ
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

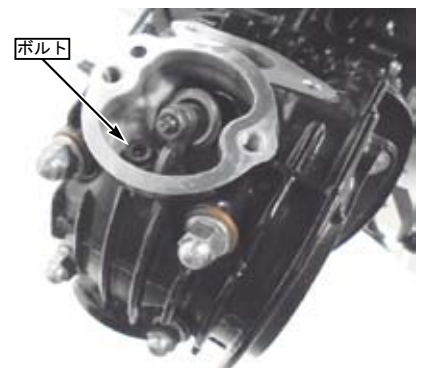


○インテーク側のロッカーアームをロッカーアームシャフトにてシリンダーヘッドに取り付ける。



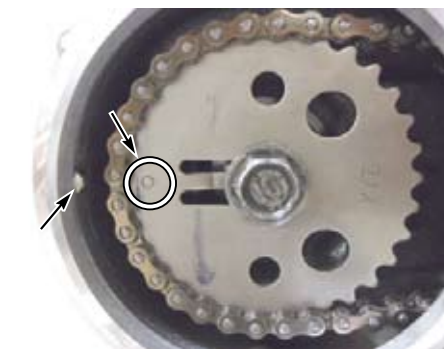
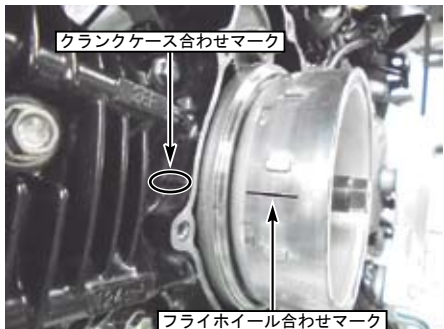
○ロッカーアームシャフトのネジ穴をシリンダーヘッドの穴に合わせ、ロッカーアームシャフト固定用のボルトを取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：5N・m (0.5kgf・m)



■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

○フライホイールの合わせマークがクランクケースの合わせマークに合っている事を確認し、カムプロケットの“O”マークがシリンダーヘッドの突起と合う様にカムチェーンを付け、カムシャフトの溝にカムプロケットの突起を合わせて取り付ける。



○ユニバーサルホルダーにてカムプロケットを保持し、カムプロケットのボルト/ワッシャを規定トルクにて締め付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト/ワッシャ
トルク：27N・m (2.8kgf・m)



○クランクシャフトを反時計方向に2回転し、フライホイールの合わせマークがクランクケースの合わせマークに合い、且つカムプロケットの“O”マークがシリンダーヘッドの突起と合う事を確認する。

○テンショナーロッドのボルト穴にエンジンオイルを少量注入した後、オイルフィルターボルトを取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
オイルフィルターボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



オイルフィルターボルト

●バルブクリアランスの調整

○フライホイールの合わせマークがクランクケースの合わせマークに合い、且つカムプロケットの“O”マークがシリンダーヘッドの突起と合っている事を確認する。

○ロッカーアームのアジャストスクリューとバルブステムエンドの間にシクネスゲージを差し込み、アジャストスクリューを締め込んでいき、シクネスゲージが少し抵抗がある程度に引き抜けるぐらいに合わせてアジャストナットを締め付ける。

バルブクリアランス
IN, EX 共に 0.08 ± 0.02mm

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
アジャストナット
トルク：9N・m (0.9kgf・m)



○純正サービスマニュアルを参照し、取り外した部品を取り付け、配線の接続やワイヤリングを行う。

○新品のシーリングワッシャを取り付けたドレンボルトをクランクケースに取り付け、規定量のエンジンオイルを注入する。
※ドレンボルトを変更されている場合は、そのドレンボルトの取扱説明書に従う事。
フィルターキャップを取り付ける。

エンジンオイル量
オイル交換時：0.9 ℓ
オイルフィルター交換時：0.9 ℓ
エンジン分解時：1.05 ℓ

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ドレンボルト
トルク：24N・m (2.4kgf・m)

○各部を点検し、ネジやナット等の緩みがないか確認する。

○風通しが良く、安全な場所で十分注意してエンジンを始動し、各部にオイル漏れや、エンジンからの異音がない事を確認する。
エンジンを止め、約1分後オイル点検窓にて基準範囲内である事を確認する。
ネジやナット等の緩みがないか再度点検する。

▲警告：エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。
密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)

